

ガイドボランティア活動記録(平成19年)

山本昌生

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入した。現在5期生まで56名(平成19年12月現在)が活動中である。今回は前号(第28号)に続いて、その後の活動や進展について報告する。

導入の経緯については平成13年度栽培記録(第23号)に記している。

平成19年12月現在のガイドボランティア56名のうち、1期生が16名、2期生8名、3期生3名、4期生18名、5期生11名である。

ガイド活動は定期ガイドとしてベゴニア温室、大温室、熱帯スイレン温室、フクシア温室、サボテン温室、花の進化園とロックガーデンを毎週土曜日と日曜日、イベント時の祝日に実施している。また、季節に応じてサクラやバラ、ハナショウブ、アジサイなどを案内した。このほかに申込ガイドとして学校の自然体験学習や公民館、老人会、観光ツアー会社などからの申込に対応している(表1)。

また、8・9月と12月に開催した夜間開園では夜の植物を案内した。特に8・9月にはサガリバナ、オオオニバス、ゲッカビジン、ヤコウボクなど夜に開花する(香る)植物などをガイドした。

樹木ウォッチングは、毎月第2火曜日と第4土曜日の月2回実施した。サクラやカエデなど園内の樹木を中心に解説した。平成19年は、平成18年秋に完成した「うらら池」の散策路のコースを新たに加え、また温室植物の案内を充実させるために温室のガイドを3回行った(表2)。

入園者から認識されやすくするため、ガイドボランティアのユニフォーム(ブルゾン)を3月に作成した(写真1)。



写真1. ユニフォーム

組織作りと自主運営について

ガイドボランティア制度を導入して、7年が経過した。基本的な活動である植物案内は、上記のとおり計画的に実施している。ボランティアメンバーの中には、さらに自主研修、自主活動を行っている人も多い。そこで、その研修や活動を広くボランティア全体に拡大し、新たな企画など発展的な活動を企画してもらい、さらにボランティアメンバー自身による組織の運営を目指し、当園の事務負担を軽減することとした。

5月30日に有志による話し合いをもち、組織作りのために各メンバーが所属する班作りを行い、各班から班長、副班長を選出、さらに全体の代表、副代表、書記、会計を選出することなど自主運営化の基本案を作成した。6月24日の例会で、代表、副代表などを選出し、例会出席者に所属を希望する班を選択してもらった。メンバーの集まりを仮称「広島市植物公園ガイドボランティアの会」として会の規約(案)を提示し、内容について協議した。10月20日の例会で、規約が承認された。

規約の主な内容は以下のとおりである。

(1) 名称を「広島市植物公園ガイドボランティアの会」とする。

(2) 管理班、イベント班、観察班を作り、メンバーは希望する班に所属して活動する。

(各班の主な活動内容)

管理班：ボランティアルームの管理、当番表の作成など

イベント班：イベント時のボランティアコーナーの企画と運営

観察班：開花調査と結果のとりまとめ、樹木ウォッチングの企画と運営、植物の名札つけなど

(3) 各班から班長1名、副班長2名を選出し、合計9名をリーダーとして、会の運営について検討・協議を行い、会の方針を決定する。

(4) リーダーの中から、代表1名、副代表2名、会計1名を決定する。

(5) 定例総会を4月に開催し、前年の活動・会計報告、規約の改廃などを行い、本年度の活動計画と予算の決定などを行う。

(6) 植物公園のガイドボランティア担当は、従来どおり管理課企画広報係とし、新会員の募集・研修・登録・登録の抹消・会員名簿の作成などを行い、その他、植物公園による対応が望ましい事項について対応する。

なお、会の代表は一橋賢三、副代表は橋谷桂子、坂本俊弘に決定した。

例会と研修について

偶数月にボランティア活動の報告・協議について例会を10時30分から12時に行っていたが、前述のとおり、自主運営化について話し合いの時間が必要のため、開始時間を10時からとした。また、例会時の研修は不定期に行った(写真2、表3)。

園外の研修は、ボランティア同士の親睦を兼ねて、5月に広島県安佐北区の宇賀峠を訪れ、シダ植物などの野生植物を観察した。11月に岡山市の半田山植物園に行き、同植物園の職員の解説を受けて園内の見学を行った。(表3、写真3)。いずれもガイドボランティアの会による企画・実施とした。また、情報提供として不定期にガイドボランティア通信を発行した(表3)。

自主活動について

5月4日(みどりの日)・5日(こどもの日)と「秋のグリーンフェア」期間中の11月3日(植物公園開園記念日)・4日にガイドボランティアコーナーを設け、入園者に活動をアピールし、竹馬体験、どんぐりの試食、手作り苔玉販売などを行い好評だった。

平成18年4月から毎週行っている屋外植物の開花調査は、継続しているが、調査植物の種類を見直し、また、同じ種類でも多くの個体数があり、調査者により記録する個体が異なることがあるため、調査個体に番号をつけた。番号は調査順となっていて、以前より効率的に調査を行うことができるようにした。

入園者へのサービス向上として、入り口に見ごろの植物などを案内するインフォメーションコーナー

を12月から試行した。きめ細かい案内が事前にでき、さらにガイドを各温室などで実施していることを紹介し、入園者から気軽にガイドに声をかけてもらえるようになった。

自主グループの活動として、植物公園近くの山の植物を定期的に調べ、写真撮影、標本作りを行い、植物リストを作成している。また、園内の野生植物(草本類)を調査しているグループは、標本及び植物リストを作成した(本号栽培記録P17-33)。

広島市立島工業高等学校から、校内の樹木の名前調査を依頼され、12月に調査した。今後、樹名板設置について協力していく予定である。

新規ガイドの募集と養成

体調不良や家庭の事情により、退会する人がいるため及び会の活動を充実させるために平成19年11月に広島市の広報誌「市民と市政」、地元の新聞等を通じて新規ガイドを募集した。15名の応募があり、平成20年4月からのガイドデビューを目指して、1月から3月まで、全5回の養成講座を開催することとしている。

今後の計画及び課題

- ・ガイドボランティアの会リーダーズを中心に会員の意見を反映し、自主運営化を進めていく。
- ・ガイドボランティアの会と植物公園との連携を密にし、お互いの協力体制をとりながら活動を進めていく。
- ・入り口のインフォメーションコーナーを充実させ、入園者への情報提供サービスに努める。
- ・研修や懇親の機会を充実し、活動への意欲やマナーを向上してもらうことが必要と思われる。



写真2. 例会班別協議 (平成19年10月)



写真3. 半田山植物園 (2007年11月23日)

表 1. 定期ガイド・申込ガイド実績表（平成 18 年度・平成 19 年 4 月～ 12 月）

月	定期ガイド *1											申込ガイド		合 計
	温室				屋外				小計	樹木 ウォッチング	計	*2		
	日数 (日)	ペゴニア 温室	大温室 *3	フクシア 温室	花の 進化園	ロック ガーデン	その他 *4	入口 案内 *5				件数	人数	
平成 18 年 4 ～ 12 月小計 *	84	2,205	5,351	2,999	1,405	1,007	633	0	13,600	393	13,993	21	600	14,593
平成 19 年 1 月	8	156	183	147	42	11	0	0	539	55	594	0	0	594
2 月	8	286	407	316	153	51	0	0	1,213	55	1,268	2	74	1,342
3 月	8	155	355	245	124	83	0	0	962	46	1,008	2	30	1,038
平成 18 年度合計	108	2,802	6,296	3,707	1724	1152	633	0	16,314	549	16,863	25	704	17,567
平成 19 年 4 月	10	410	968	537	216	81	111	0	2,323	63	2,386	3	103	2,489
5 月	11	422	992	615	305	212	176	0	2,722	55	2,777	4	64	2,841
6 月	9	282	314	311	100	105	125	0	1,237	50	1,287	5	136	1,423
7 月	9	197	396	223	92	92	43	0	1,043	28	1,071	1	46	1,117
8 月	8	162	300	246	87	37	0	0	832	23	855	4	97	952
9 月	10	344	459	205	151	71	5	0	1,235	26	1,261	1	120	1,381
10 月	8	233	433	330	213	89	4	0	1,302	33	1,335	3	91	1,426
11 月	8	495	768	458	472	265	0	0	2,458	55	2,513	6	164	2,677
12 月	8	60	138	95	49	34	0	98	376	24	498	0	0	498
平成 19 年度小計	81	2,605	4,768	3,020	1,685	986	464	98	13,528	357	13,885	27	821	14,804

平成 18 年の 4～12 月は前号（栽培記録第 28 号）に記したので省略した。

*1 定期ガイドは土・日の昼間と祝日・夜間開園に実施したガイド

*2 申込ガイドは団体から申込みがあったガイド

*3 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。

*4 その他は、サクラ、バラ、アジサイなど特定の時期の植物案内。

*5 入口案内は平成 19 年 12 月から開始した。

表 2. 樹木ウォッチング実績表（平成 19 年）

開催日	観察テーマ・コース	参加者数	担当者
平成 19 年 1 月 9 日（火）	冬芽の観察	20	湯出原
1 月 27 日（土）	タケ・ササコース	35	一橋
2 月 13 日（火）	温室植物の観察	20	藤井・坂本
2 月 24 日（土）	ウメの観賞	35	今村
3 月 13 日（火）	早春の花の観賞	33	橋谷
3 月 24 日（土）	ツバキの観賞	24	三輪
4 月 10 日（火）	サクラ観賞と香りの散歩道	35	金山
4 月 28 日（土）	うらら池周辺の観察 ツツジ・シャクナゲなど	28	今村撰
5 月 8 日（火）	春の野草観察	23	湯出原
5 月 26 日（土）	バラ園	32	池下
6 月 12 日（火）	温室コース（1）	19	橋谷
6 月 23 日（土）	日本庭園とアジサイ	31	三輪・石原
7 月 10 日（火）	園内のシダ植物	18	山下
7 月 28 日（土）	針葉樹コース（1）	10	坂本
8 月 14 日（火）	夏の野草観察	13	斉藤
8 月 25 日（土）	タケ・ササコース	10	一橋
9 月 11 日（火）	ハギ園	18	今村
9 月 22 日（土）	樹林観察園（1）	8	北本
10 月 9 日（火）	ドングリと里山コース	15	若木
10 月 27 日（土）	秋の野草観察	18	原田
11 月 13 日（火）	ツバキ園周辺の木の実の観察	18	斉藤
11 月 24 日（土）	カエデ園	37	北野
12 月 11 日（火）	温室コース（2）	18	橋谷
12 月 22 日（土）	針葉樹コース（2）	6	一橋
合 計		524	

表 3. 例会・研修及びガイドボランティア通信一覧表

開催日	場 所	例会及び研修内容	参加者数
平成 18 年 4 月～12 月小計		(内容は広島市植物公園栽培記録第 28 号に掲載)	210
平成 19 年 2 月 24 日（土）	植物公園 講堂	例会：制服について（協議） 樹木医の活動について（講師：植物公園 富澤まり）	28
平成 18 年度合計			238
平成 19 年 4 月 21 日（土）	植物公園 講堂	例会：生活圏における樹木の種類と園芸への利用 (講師：植物公園 平井健一郎) ・ガイドボランティア通信 33 号「ロックガーデンガイドの手引き 番外編」(藤井かおり)	30
5 月 11 日（金）	宇賀峽	春の園外研修：広島市安佐北区の宇賀峽の植物観察 (ガイドボランティア有志による企画・実施)	11
6 月 24 日（日）	植物公園 講堂	例会：ガイドボランティアの自主運営化検討 (活動班の決定、代表者・副代表等の決定) ・ガイドボランティア通信 34 号「植物公園ガイドボランティア春の園外研修（宇賀峽の植物観察）」(坂本俊弘)	34
8 月 26 日（日）	植物公園 講堂	例会：ガイドボランティアの自主運営化検討 (組織・活動方針の説明、広島市植物公園ガイドボランティアの会規約(案)の協議)	29
10 月 20 日（土）	植物公園 講堂	例会：ガイドボランティアの自主運営検討 (広島市植物公園ガイドボランティアの会発足、会規約の承認、入り口案内の検討、秋のグリーンフェア出店打合せなど)	35
11 月 23 日（金・祝）	岡山市 半田山 植物園	秋の園外研修：岡山市半田山植物園の見学（半田山植物園の職員による案内） (ガイドボランティアの会による企画・実施)	29
12 月 15 日（土）	植物公園 講堂	例会：ガイドボランティアの自主運営活動検討 (開花調査、ミーティングリーダーの役割、物品の購入システム、平成 20 年の計画などについて協議) ・ガイドボランティア通信 35 号「植物公園ガイドボランティア秋の園外研修会」(坂本俊弘)	34
平成 19 年 4 月～12 月小計			202